

4 東北が連携し“雪”を世界へ!!

雪と文化をテーマとした東北観光プロモーション会議(1月31日～2月2日 天童市ほか)

昨年、本県で開催された「国連世界観光会議」の成果を踏まえ、東北の冬のブランド化を進めるため、各県などと連携し観光会議を開催しました。台湾や香港、中国、韓国から旅行会社やマスコミの関係者が参加しました。吉村知事は、「今回を機に、冬の東北が広く情報発信され、東北へのインバウンド拡大につながることを期待している。」とあいさつしました。基調講演や、各県によるプレゼンテーションのほか、商談会を行い、海外に向け冬の東北を大いにPRしました。



5 山形の冬を思いっきり楽しみました!

第4回やまがた雪フェスティバル(2月1日～3日 寒河江市)

県内各地で行われる特色豊かな雪まつりのオープニングとして、今年も「やまがた雪フェスティバル」を開催しました。「紅花美人」をテーマとしたシンボル雪像の展示や冬花火などのほか、花の衣装をまとった「花衣雪だるま」が初登場。また、雪上宝探しや真室川町発祥の「ホワイトアスロン」体験、ステージイベント、県内のご当地グルメを集めた雪中屋台など、冬の魅力満載の内容となりました。県内はもちろん、県外や海外から22万9000人の来場者で大盛況でした。



1 世界が認めるリゾートを目指して

第1回 新「世界の蔵王」プロジェクト会議(12月17日 山形市)

本県を代表する観光地「蔵王」。年間を通して国内外から多くの観光客であふれる観光地を目指し、また、県全体の交流拡大に結び付けるため、プロジェクト会議を発足しました。吉村知事は、「蔵王は、世界に誇る四季のリゾートとなる可能性は十分にある。『新しい蔵王』を創り、国内外に発信してまいりたい。」とあいさつしました。今後は、ブランドコンセプトを作り、ハード・ソフト両面からの取り組みを進めていきます。



2 温泉地の価値創造へ、若旦那とトーク

県民活躍トーク(1月9日 山形市)

新たな価値の創造などに取り組んでいる企業グループや団体などと吉村知事が、産業の創出や活性化について議論する「県民活躍トーク」を昨年度より実施しています。今年度第1回目は、県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部の皆さんでした。温泉地観光の状況説明や「朝ごはん」、「若旦那」のPRによる温泉地活性化の取り組み紹介のほか、バリアフリー化やインバウンドの受け入れ拡大、受動喫煙防止策など、温泉地の魅力向上について幅広く意見交換しました。



3 国際定期チャーター便による誘客拡大に向けて

トップセールス in 台湾(1月17日～19日 台湾)

昨年10月から今年2月まで運航した台湾との国際定期チャーター便について、春夏期の新規運航と秋冬期の運航継続に向け、台北市でトップセールスを行い、新たに春夏期に84便の運航が決定しました。本県PRコーナーを設置する宜蘭県のホテル「山形閣」では、お客様から県産品への問い合わせが多く寄せられており、複数商品の試験販売が決定しました。今後も本県の魅力をさらに発信し、インバウンド拡大や県産品の輸出促進、交流拡大に取り組みます。



にっこり

知事室!

高速交通網整備の時代から 新しい未来へ

まもなく平成が幕を下ろします。今、私たちが当たり前のよう利用している山形自動車道や山形新幹線、庄内空港は、平成の時代に開通・開港したんですよね。もうすぐ南陽高島ICと山形上山IC間などが開通する東北中央自動車道も、歴代の知事や多くの関係者の皆さんのためめ努力と熱意が実を結んだものです。先人達に心から感謝したいと思います。

多様な重層的な高速交通ネットワークの整備は、真の「やまがた創生」に、そして日本の活性化にとって不可欠です。現在、山形新幹線米沢～福島間のトンネルの早期事業化やフル規格新幹線の実現、県内2空港の滑走路の延長などに取り組んでいます。これらは、未来の子どもたち、地域の将来を担う若い世代のために、私たちの世代が責任を持って進めていく必要があります。

それぞれに乗り越えなければならぬ課題は多いですが、県民が、地域が一丸となって取り組んでいくことで、必ずや道は開ける、開かなければならないと思っています。新しい元号の時代、私も頑張ります。「なせば成る」!

山形県知事 吉村 志子



東北中央自動車道の南陽高島ICから北に延びる道路を望む